

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成24年4月19日 (2012.4.19)

【公表番号】特表2011-512978(P2011-512978A)  
【公表日】平成23年4月28日 (2011.4.28)  
【年通号数】公開・登録公報2011-017  
【出願番号】特願2010-549192(P2010-549192)  
【国際特許分類】

A 4 7 J 31/44 (2006.01)

A 4 7 J 27/21 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 31/44 Z

A 4 7 J 27/21 1 0 1 C

【手続補正書】  
【提出日】平成24年3月5日 (2012.3.5)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

個別の部品が内部に組み込まれるハウジングを有し、前記部品が電気製品の外表面の一部を備え、前記部品と前記ハウジングとの間に延びる 1 以上の長い部分を有するシールにより前記部品がハウジングに対しシールされる、洗浄可能な電気製品。

【請求項 2】

前記シールが前記部品にマウントされる、請求項 1 に記載の電気製品。

【請求項 3】

前記シールが、互いに別方向に延びる複数の前記長い部分を有する、請求項 1 または 2 に記載の電気製品。

【請求項 4】

電気製品の電气的機能を制御するために使用者によって操作可能なスイッチを有し、フレキシブルなシール部材により、前記フレキシブルなシール部材を通じて前記スイッチを操作できるように、前記スイッチが電気製品の内部にシールされている、請求項 1 または 2 の洗浄可能な電気製品。

【請求項 5】

液体加熱手段を備えた液体加熱部分と、分注部分と、他の部分とを含み、それらの部分を取り外し可能に接続される、加熱液体ディスペンサを有する、請求項 1 または 2 の洗浄可能な電気製品。

【請求項 6】

個別の部品が内部に組み込まれるハウジングを有し、前記部品をハウジングに保持するシール部材によって前記部品がハウジングに対しシールされる、洗浄可能な電気製品。

【請求項 7】

前記シールが前記部品および前記ハウジングのうちの一方にマウントされ、前記部品および前記ハウジングのうちの他方が前記シールと係合する手段を備える、請求項 6 に記載の電気製品。

【請求項 8】

前記部品と前記ハウジングの両方がシールと係合する手段を備える、請求項 6 に記載の

電気製品。

【請求項 9】

前記シールがグロメットシールである、請求項 6 に記載の電気製品。

【請求項 10】

ハウジングと、前記ハウジングの内部に組み込まれ電気製品の外表面の一部を形成する外部の個別の部品と、前記ハウジングの内部に組み込まれ電気製品の外表面の一部を形成しない内部の個別の部品と、を有し、内部の部品の周囲をシールするシール部材によって外部の部品がハウジングに対してシールされる、洗浄可能な電気製品。

【請求項 11】

前記内部の部品は内部容器の底を含み、前記外部の部品は電気製品の基部を含む、請求項 10 に記載の電気製品。

【請求項 12】

部品とハウジングとが、組み立て時にシーラント用チャンネルを形成する相補的な形状を有し、前記ハウジングと前記部品との間でシールを形成するように、シーラントを前記シーラント用チャンネルに導入して前記シーラントを固化することを含む、洗浄可能な電気製品のハウジング内に部品をシールする方法。

【請求項 13】

前記チャンネルが、前記シールを前記部品と前記ハウジングとの間に保持する手段を備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

主ハウジングと、分離して形成され前記主ハウジングに取付けられたハウジング部品とを有し、前記主ハウジングおよび前記ハウジング部品の端面が互いに隣接しており、前記ハウジング部品および前記主ハウジングのいずれか一方の内側部分が、前記ハウジング部品および前記主ハウジングのいずれか他方の内部へと延び、前記ハウジング部品および前記主ハウジングのいずれか他方に対してシールする、洗浄可能な電気製品。

【請求項 15】

主ハウジングと、分離して形成され前記主ハウジングに取付けられたハウジング部品とを有し、前記主ハウジングおよび前記ハウジング部品の端部が、互いに係合する相補的な鋸歯を含む、洗浄可能な電気製品。

【請求項 16】

前記相補的な鋸歯の一つがシールを含む、請求項 15 に記載の電気製品。

【請求項 17】

部品とハウジングとが相補的な構成を有し、前記相補的な構成を溶接することを含む、洗浄可能な電気製品のハウジング内へ部品を組み込む方法。

【請求項 18】

クリップをハウジングの内表面と実質的に平行な方向へとスライドさせ、部品の一部と前記ハウジングの内表面の一部とを係合させることを含む、洗浄可能な電気製品のハウジング内に部品を保持する方法。

【請求項 19】

電氣的機能を制御するために使用者によって操作可能なスイッチを有し、フレキシブルなシール部材により、前記フレキシブルなシール部材を通じて前記スイッチを操作できるように、前記スイッチが電気製品の内部にシールされている、洗浄可能な電気製品。

【請求項 20】

電気製品の外部において操作可能な第 1 の移動可能な部材と、電気製品の内部にシールされた第 2 の移動可能な部材とを有し、前記第 2 の部材が、フレキシブルなシーリング部材を通じて前記第 1 の部材により操作可能である、洗浄可能な電気製品。

【請求項 21】

電気製品の外部において操作可能な第 1 の移動可能な部材と、電気製品の内部にシールされた第 2 の移動可能な部材とを有し、前記第 2 の部材が、磁氣的なリンクを通じて前記第 1 の部材により操作可能である、洗浄可能な電気製品。

**【請求項 2 2】**

電気製品の外部において操作可能な移動可能な部材と、電気製品の内部にシールされた部品とを有し、前記部品が、磁気的に操作されるスイッチを通じて前記第 1 の部材により操作可能である、洗浄可能な電気製品。

**【請求項 2 3】**

区画を有し、前記区画が前記区画の内部の空間を実質的に充填する内部シールを備え、前記内部シールが、前記内部の空間に嵌まり込むように予め成形されている、洗浄可能な電気製品。

**【請求項 2 4】**

加熱液体ディスペンサを含む、請求項 1 ないし 1 1、1 4 ないし 1 6 および 1 9 ないし 2 3 のいずれかに記載の電気製品。

**【請求項 2 5】**

電気製品が、加熱液体ディスペンサである、請求項 1 2、1 3、1 7 または 1 8 のいずれかに記載の方法。

**【請求項 2 6】**

当該部品に適用される、シールするカバーあるいはエンクロージャを有する、洗浄可能な電気製品の内部の部品。